

# CT ガイド下ペースメーカー移植術の合併症軽減に対する有用性

## 1. 研究の対象

2017年01月01日～2022年12月31日に当院にてペースメーカー移植術を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

ペースメーカー移植術は心臓穿孔・リード離脱・感染症といった合併症をもたらす侵襲的治療です。現在においても、ペースメーカーが技術革新により改良されているにも関わらず、合併症の頻度はほとんど改善していません。本研究は、ペースメーカー移植術を受けられた方の背景・手術記録・検査結果・術後の経過を追跡することにより、術前 CT 検査が合併症軽減に有効であることを検証することを目的とします。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテから得られる情報（カルテ番号、病歴、手術記録、検査所見、合併症等の発生状況等）

## 4. 情報の提供

データ管理のための対応表は研究担当者が保管・管理します。

## 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病者さまもしくは病者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病者さまに不利益が生じることはありません。

### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：循環器内科 木村 晃久

研究責任者：循環器内科 伴場主一